



大久保あきら通信

2018.08 No.12

大久保あきら後援会事務所

〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森6丁目19-5(有限会社大輝不動産内) TEL096-233-1237

6月定例議会が開催されました

6月定例議会のポイント

●行政報告

町長より行政報告がありました。主な内容をご紹介します。

- (仮称)防災センターを役場周辺に予定しており、今年度中に基本設計へ取り組む予定。
- 菊陽町地域防災計画を見直し、平成28年熊本地震を踏まえ「減災」の考え方を中心に、新たな「菊陽町地域防災計画」を決定。
- 公立保育所民営化計画について民営化の対象は、白菊園、白鈴園、さくら園、武蔵ヶ丘第一保育園、武蔵ヶ丘第二保育園の5園。移管先事業者の公募を行った結果、12の事業者から応募があり、選考委員会での審査結果を踏まえ、各園の移管先事業者を決定した。
- 菊陽中部小学校と菊陽西小学校の放課後児童クラブ、それぞれ2保育室を増設し、4月から新たな学童クラブを開所した。
- 総合交流ターミナル施設「さんふれあ」は現在大規模改修工事中であり、9月末の完成を目指している。
- 地方創生について、事業の柱が3本。1.「さんふれあ」のリニューアルに合わせて健康増進ジムを新設予定。2.「菊陽健康倶楽部」で、歩く健康機器で計測する。健康メニューを食べるなどの健康づくりの取り組みにポイントがたまる仕組み。3.「菊陽健康メニュー」で、タニタによる監修メニューを提供する飲食店が現在町内に5店舗。それぞれの店舗の特色を活かしたカロリー控えめでおいしいメニューを提供している。
- 菊陽西小学校の児童数増加により、それに対応する給食を提供できるよう、今年8月までの予定で給食室の増築・改修工事を実施。菊陽北小学校では平成29年度から3ヶ年計画で老朽化に伴う校舎の大規模改修工事を行っており、本年度2期目の工事を実施する。また、本年度は、武蔵ヶ丘中学校の校舎の床改修工事と、グラウンド拡張整備も行う予定。
- 菊陽町民体育館が熊本地震により使用できない状態となっているが、9月からの利用開始に向けて、復旧工事に取り組んでる。
- 総合体育館については、本年度から建設に向けて本格的に取り組むを進める。

●平成30年度菊陽町一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ4,233万1千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ149億2,444万3千円とする。歳出の主なものとして、被災住宅応急修理補助金1,267万2千円、農業振興費補助金633万5千円、消防施設整備補助金504万円など。全員賛成で可決されました。

●旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書(案)が提出され、私も賛同議員として意見書(案)に署名しました。

内容は、早急な救済措置を講じるべきであることを含めての提案であり、全員賛成で可決されました。



リニューアル中の「さんふれあ」の様子

7月臨時議会が開催されました

7月臨時議会のポイント

- 行政報告 町長より行政報告がありました。
 - 6月18日に発生した「大阪北部地震」により、高槻市で小学4年の女兒が小学校ブロック塀の下敷きになり犠牲となった痛ましい事故が発生した。この事故を受け、6月21日に緊急対策会議を開き、早急に町有施設のプロック塀・フェンス等の安全点検を行うよう指示。8施設で対策が必要と判断、早急に安全対策を講じる。
 - 平成30年7月豪雨(西日本豪雨)に伴い、熊本県は「愛媛県宇和島市」を罹災証明業務で支援することとなった。詳細は固まっていないが、菊陽町においても県や県内市町村と連携し、職員を派遣する計画である。
- 平成30年度一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ1,000万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ149億3,443万3千円とする。歳出の主なものとして、(仮称)菊陽町防災センター基本設計委託料507万3千円など。全員賛成で可決されました。
- 工事請負契約の締結について
菊陽北小学校第2期大規模改造工事の契約。全員賛成で可決されました。



総務常任委員会 副委員長を拝命しました

一名議員辞職に伴い、7月臨時議会前に委員長を決定するため総務常任委員会が開催されました。互選の結果、私は総務常任委員会 副委員長を拝命しました。これまで以上にしっかりと取り組みたいと思います。

都市計画に関する研修を受講しました

○都市計画からみた地域活性化in東京を受講しました。

講師は、前・国土交通省国土交通政策研究所所長の佐々木晶二氏。この研修は私にとって大変興味深いテーマであり、議会からの派遣等ではなく自主的に参加しました。

冒頭の都市計画の基本などは、よくわかっているつもりでしたが、都市計画とはそもそも何か、といった講義は単なる技術的な話だけではなく、そもそも何のために都市計画が定められているのかということ憲法からのアプローチで語られ、普段意識していない切り口からの新鮮な内容でした。

その他、立地適正化計画と都市のコンパクト化、公園など公的不動産の活用とリノベーション、郊外住宅市街地での高齢者支援サービスや空き家対策、所有者不明土地法における大災害時の用地買収特例の創設など、どれも興味深いテーマについて、事例を含めて分かりやすく講義していただきました。災害時の経験から、大地震などの災害に関しては平時から災害時のことを考えておかないと、災害が発生した時には何もできないので、普段からそのような視点を持つておくことが大切であると話されていました。

講義内容としては、人口減少時代にともなう政策的な内容が多くありました。菊陽町は今のところ人口は増加傾向ですが、今回の学びを菊陽町が将来、人口減少時代に入突する時に備えて活かしていけるような提言につなげていきたいと思っています。



議員・議員のための

都市計画からみた地域活性化と議員・議会の役割 in 東京

7/23 (月) 14:00 ~ 17:00

講師 佐々木晶二
【国土交通省国土交通政策研究所長】

都市計画からみた地域活性化

1. 都市計画区域など都市計画の基本
2. 立地適正化計画と都市のコンパクト化
3. 公園など公的不動産の活用とリノベーション
4. 地域活性化のための規制緩和と政策金融
5. 郊外住宅市街地での高齢者支援サービス
6. 郊外住宅市街地での空き家対策
7. 最新の不明土地対策

総務常任委員会行政視察研修

○空き家バンク制度

7月5日、総務常任委員会行政視察研修へ行ってきました。

山鹿市で取り組まれている「空き家バンク制度」について視察研修。山鹿市における「空き家バンク制度」とは、山鹿市内の活用可能な空き家情報と、山鹿市内への定住希望者を登録・紹介することにより、空き家の有効活用を図るとともに、U/Iターン希望者や二地域居住者などの定住を促進し、地域の活性化を図ることを目的としている取り組みです。

○人口は減少傾向

山鹿市の人口は52,513人(2018年5月末現在)で、2060年には38,000人になるという予測もあり、空き家対策及び今後の人口減少に対して、定住者の増加の一助となる思いがあるようでした。

平成25年度からの取り組みで、現在までで売却と賃貸の希望合わせて47件の物件登録があり、契約件数は18件。購入・賃借の希望者は現在までで161名(内山鹿市外で110名)、今後も伸びていく見通しとのことでした。

私は、不動産業を営んでいるということもあり、技術的な細かいところも質問させていただきましたが、それに対し山鹿市の職員の方から丁寧な回答をいただき、更に不動産業者の立場からは、このような制度をどう思うかといった質問をいただきました。

私は、不動産業者の立場から見ても大変良い取り組みであり、官民一体となって取り組んでいくべき制度であると思いましたので、その旨を伝えさせていただきました。

菊陽町は現在のところ人口は増加傾向であり、空き家の数は多くはない状況ですが、将来の人口減少となる時期に備えて、今のうちからこのような制度を学び、菊陽町に合った政策を考えていく必要があると感じました。

○翌日の研修は大雨のため中止

翌7月6日は福岡県岡垣町で運転免許証返納についての研修を予定していましたが、福岡県北部地方が大雨により研修受け入れ不可能とのことで中止となりました。

岡垣町では、高齢運転者の交通事故を防止するため、高齢運転者の自動車に代わる交通手段の確保を支援することで、運転免許証の自主返納を促す取り組みをされています。

内容をお聞きし、菊陽町ではどのような取り組みができるのかといった視点での研修ができるものと思っていましたので、中止となり残念でした。



山鹿市役所



広報特別委員会視察研修

7月24日・25日、佐賀県唐津市議会・佐賀県基山町議会の広報特別委員会視察研修へ行ってきました。

初日、唐津市議会を訪問し視察研修。人口約12.3万人、議員定数は30人で議会報編集委員会は13人で構成。

菊陽町議会の広報で課題と考える、「いかに読んでいただくか」「わかりやすさ」「速報性」等について唐津市議会の取り組みをお聞きし、質疑応答・意見交換。菊陽町もそうですが、唐津市も常に同じ課題で悩まれており、大変有意義な意見交換ができました。

翌日、基山町議会を訪問し視察研修。人口約1.7万人、議員定数は13人で議会広報公聴常任委員会は6名で構成。

唐津市と同様のテーマについての質疑応答・意見交換を行いました。菊陽町の広報特別委員会(6名で構成)もそうであるように、研修させていただいた2市町とも、「いかに読んでもらうか」ということを一番に考え、工夫されていました。研修においては広報に関するだけでなく、他市町の議会運営等についても学ぶことができ、充実した視察研修となりました。



大久保あきらの主な動き

- 5月1日 広報特別委員会
- 5月3日 憲法フォーラムin熊本へ参加
- 5月15日 広報特別委員会
- 5月17日 広報特別委員会
- 5月18日 議員連絡会
- 5月19日 夢街光の森会 ゴーヤ苗無料配布会へ参加
- 5月20日 武蔵ヶ丘中学校体育大会へ出席 1
- 5月23日 菊陽町商工会 通常総会へ出席
- 5月27日 武蔵ヶ丘小学校運動会へ出席
- 6月6日~15日 菊陽町議会6月定例議会
- 6月10日 隊友会菊陽町支部懇親会へ出席
- 6月14日 菊陽町商工会 理事会
- 6月16日 全国商工会青年部「絆」感謝運動へ参加 2
- 6月19日 広報特別委員会
- 6月20日 夢街光の森会 倉庫落成式へ出席 3
- 7月2日 広報特別委員会
- 7月4日 全員協議会
- 7月5日 総務常任委員会行政視察研修
- 7月7日 青少年のつどいへ出席
- 7月10日 広報特別委員会
- 7月20日 総務常任委員会・臨時議会・全員協議会・広報特別委員会
- 7月23日 株式会社 地方議会総合研究所主催研修
「都市計画からみた地域活性化 in東京」へ参加
- 7月24日~25日 広報特別委員会視察研修
- 7月26日 光の森交番歓迎会及び交流会へ参加
- 7月27日 夢街光の森会 防犯パトロールへ参加 4
- 7月31日 ミニ集会開催



大久保あきら プロフィール

- 昭和50年(1975年)7月2日生まれ
- 平成6年 熊本工業高等学校 情報システム科卒業
- 平成27年4月 菊陽町議会議員に初当選
- 総務常任委員会副委員長 広報特別委員 大津菊陽水道企業団議員
- 有限会社大輝不動産 代表取締役(平成16年設立)
- 家族/妻・長女・長男・母の5人。光の森1丁目に居住
- 所属団体
 - ・菊陽町商工会 理事
 - ・熊工情報システム科同窓進情会 青年部部长
 - ・熊本東倫理法人会 幹事
 - ・日創研 熊本経営研究会 理事
 - ・(一社)相続マネージャー協議会 理事
 - ・NPO法人 住宅債務者支援センター 理事長
 - ・日本会議会員
 - ・夢街光の森会 会員



★お気軽にお立ち寄りください。

大久保あきらの活動の一環として、「大久保あきら通信」を発行させていただいています。皆様へ議会のことを少しでも発信できるように頑張っており、ぜひとも参加したいと思います。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。皆様のご意見やご要望も頂ければ幸いです。

■ご意見・ご要望は後援会事務所、電話またはE-mailで
〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森6丁目19-5(有限会社大輝不動産内)

▶TEL 096-233-1237 ▶E-mail ohkubo@daiki-f.co.jp



大久保あきら
オフィシャルサイト

ミニ集会



大久保の考えや思いをぜひお聴きください。また、皆様のご意見をいただければと思っております。数人でもお声かけいただければ伺います。

また、懇親会等にお呼びいただいても伺います。お気軽にお声掛けください。